



Title	全学出動体制を目指したアカデミック・ライティング指導と教材作成
Author(s)	堀, 一成
Citation	高大連携物理教育セミナー報告書. 2015, 26
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/52378
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

全学出動体制を目指した アカデミック・ライティング指導と 教材作成



大阪大学 全学教育推進機構
堀 一成



本日の内容

- ・大阪大学のライティング教育の現状
- ・全学出動態勢に向けた
ライティング教育参加要請
- ・新入生配布小冊子・教員マニュアル・
FDプログラムの紹介
- ・今後に向けて

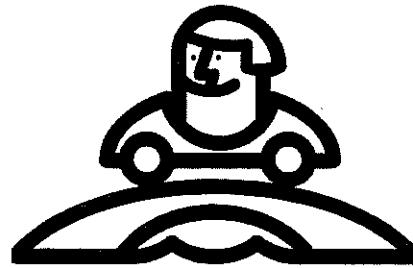


- ・1・2年生を対象とする共通教育
(教養教育)を担当する組織の教員
主な研究分野は 多言語資源・ライティング教育など
- ・旧大阪外大では情報リテラシー教育や
プログラミング教育を担当
- ・旧大阪外大 情報処理センター長
(平成16年4月～平成19年9月)
情報システムの運営や監査なども担当
- ・最近、図書館利用教育など学習者中心教育の試みに
仕事がシフト、教育学習支援センター副センター長

自己紹介 その2

- ・元々は固体物理の研究(コンピュータシミュレーション)
「非線形格子振動の局在モード」
「アルカリハライド結晶のSnイオン色中心に対する
4次の非線形格子振動効果」
- ・学位取得後 詫問電波工業高専(現香川高専)で
「固体物理」、「熱力学」、「電子制御実験」
などを担当
- ・現在も共通教育科目「文系学生のための科学実験」
で、物理・数学・情報分野の主担当
- ・高校・中学 専修「数学」免許

自分の立ち位置



文系

理系

これまでも、これからも、、、

大学におけるライティング指導の方法

- アカデミックスキル科目で講義実習
(対面授業・e-Learning)
- ライティングセンターでの対面個別指導
- 図書館等のイベントなどでの指導
- 初年次専門ゼミ科目での個別指導
- 研究室配属後の指導教員や
先輩大学院生からの直接指導
- 自分で関連の本を読むよう指示

などなど、、、

大阪大学(学部新入生約3500名) におけるライティング教育の現状

- 全学向けライティングセンター なし
- 全学必修 アカデミックスキル科目 なし
- (H25年度まで)共通のテキスト なし
- 図書館コモンズ利用講習会(年間100名程度)
- TAサポートの利用(年間数十名程度)
- ライティング基礎セミナー(年間数十名程度)
- その他開設科目(年間数十名程度)

図書館コモンズ開催イベント

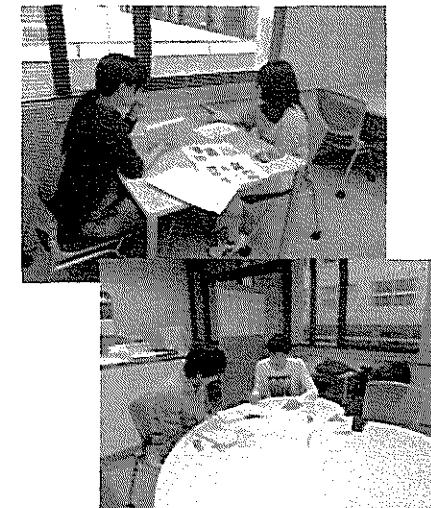
- 初年次向け(共通教育科目のレポートが対象)
「レポートの書き方講座」(2010年6月~)
90分講習3回セット 各回参加者十数名程度
- 高学年次向け(卒論作成を視野に)
「論文の書き方・文献の読み方 プチゼミナー」
90分講習4回セット 各回参加者数名程度
- 図書館TAによる論文検索等講習会
- 図書館職員による「プレゼン入門」講習会
- いずれも自由参加(履修単位とは無関係)

ライティング指導基礎セミナー

- ・前期4コマ、後期1コマ 90分15回授業
(受講者は各20名くらい)担当者 坂尻・堀
- ・図書館での情報探索、
リーディングのテクニック、
プレゼン準備なども実習
- ・グループ(4~5人)でテーマを決め
個別にライティングにチャレンジ
- ・ほぼ毎回宿題を出させて、フィードバック

ガイダンス室でのアカデミックサポート

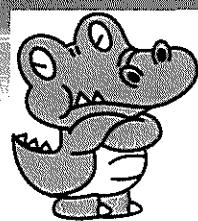
- ・毎曜日午後
大学院生が待機
- ・学習に関する
質問受け付け
- ・ライティング指導
をする場合もある
- ・数学と物理の
サポートを重視



10

大阪大学の抱える問題点

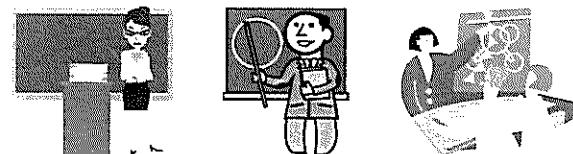
- ・ライティング指導担当者の不足
- ・固定したライティングセンターがまだ無い
- ・ほぼ全学必修情報リテラシー科目での
ライティング関連内容の不足
- ・研究中心大学における教員の意識欠如
- ・「学士課程を通じたライティング指導」の
発想にとぼしい
- ・学内ライティング指導の試みの
つながりが不十分



どうするか？

ライティングセンター無し、 全学アカデミックスキル教育科目無し の大学のとるべき道

- ・全教員が少しずつ担当できるようにする
科目内でのライティング指導の要請(教育担当副学長)



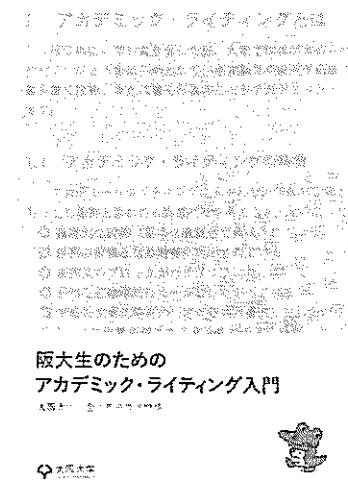
平成26年度は
基礎セミナー科目
担当者のみ

(堀・坂尻)
学生用冊子、教員マニュアル、FDプログラムのセット

11

学生配布用小冊子

- アカデミック・ライティングの必要事項をコンパクトにまとめた(A5 32ページ)
- H26年4月新入生全員(約3500名)に配布した
- 剽窃禁止・情報倫理の内容を特に強調
- 細かい形式の注意や提出前チェックリストも



1/2

小冊子・教員マニュアルの大学リポジトリデータ化(配布省力化)
大阪大学リポジトリOUKAよりPDFが
学生配布小冊子 **自由にダウンロードできる**
<http://hdl.handle.net/11094/27153>
教員マニュアル(関連スライドも)
<http://hdl.handle.net/11094/27594>
【2014年】()内は学内ダウンロード数

	4月	5月	合計
冊子	2,766 (336)	470 (115)	3,236 (461)
マニュアル	2,274 (66)	702 (20)	2,976 (86)

2014/3/7

教員用マニュアル

- 小冊子を使って教える教員のための指導内容の手引き(サンプル提示)
- 阪大のライティング教育の現状
- ライティング指導すべき項目案
- ルーブリックの利用も提案

2/2

2014 Kazunori Hori, Osaka Univ.

14

ライティングFDプログラム

- 学生は何が分かっていないか、何を説明すると良いか、グループワーク形式でディスカッション
- e-LearningシステムCLEのコピペ対策レポートシステムの紹介
- 2013年度は豊中のみ1回開催
2014年度は3キャンパス(豊中・吹田・箕面)で各複数回実施の予定(学外受け入れも検討)

2014 Kazunori Hori, Osaka Univ.

16

今後の課題

- ・学部・学科コースデザイン(これから本格始動)と整合性をどうとるか



本当の全学出動体制確立に向けて

- ・マネージメント担当者拡大をどうするか
- ・ライティング指導可能なTAの養成
(本年度後期から大学院生向け科目設立の予定)
- ・やっぱりライティングセンター要る?

大学に入ってからでは遅いのでは?

- ・アメリカでは小学校から鍛えている
(早稲田大学 佐渡島先生談話より)
- ・所作しつけと同じで
最初から良いふるまいをするよう
指導すべきでは
- ・高大だけでなく小中とも連携を

新課程修了生に期待?

- ・「言語活動を充実する趣旨を確認し、各教科等の目標と関連付けた効果的な指導を行うこと」
- ・「言語活動が、論理や思考などの知的活動やコミュニケーション、感性・情緒の基盤となるものであり、生徒の思考力・判断力・表現力等を育むために有効な手段である」
- ・高等学校等の新学習指導要領の実施に当たって
(通知)平成25年4月1日より引用

平成27年度新入生に期待!

まとめ

- ・大阪大学のライティング教育の現状
- ・ライティング指導担当でない教員にも
ライティング教育参加を要請した
- ・新入生配布小冊子・教員マニュアル・
FDプログラムの紹介
- ・今後の取り組みと
将来への期待